

■ HCR Series



HCR900-DSⅢ



HCR1000-DSⅡ



HCR1200-DⅢ



HCR1200-EDⅡ



HCR1500-EDⅡ

■ エキセントリックリッパ

★ベンチ掘削・端縁処理・切羽修整(根切り)・選別採掘などの作業に能力を発揮します。



偏心ギヤを油圧モータで回し、発生する振動をアキュムレータで増幅、先端のツールに力を集中させることで掘削・解体を行うことができる革新的な振動増幅式リッパです。油圧ブレードと油圧ショベルの中間的な破碎機で、バケット作業にはない破碎力、油圧ブレードではできないかき寄せ作業等ができる大きな利点があります。石灰石鉱山や採石場などのベンチ掘削・端縁処理などに有効に活用でき、高い生産性を発揮します。硬い岩盤ではドリルやブレードと併用することでリッパの作業範囲が広がり、生産効率がアップします。

- 亀裂のある岩盤では、ブレードの2倍以上の高い生産性があります。
- 端縁処理のような亀裂・浮石をやすく掘削することができます。
- 玉石が出る現場では、掘削できなくても掘り起しができます。
- スリに埋もれた鉱石の採掘や溝掘り作業など局所的な掘削ができます。
- アームで根を探り、根の周りを崩し、最後に掘り起こす作業ができます。

XCENTRIC RIPPERは、スペインのGRADO CERO社の製品です。古河ロックドリルが日本国内の独占販売権を有しています。

⚠ 安全に関するご注意

- ご使用されるときは「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
- 故障や事故を防ぐため、機械の定期的な点検を必ず行ってください。

- 排出ガス基準に適合しているディーゼルエンジンは、燃料に軽油を使用することを前提に設計されています。燃料には必ず軽油をご使用ください。
- オフロード法に関する国土交通省告示で軽油使用が明記されています。軽油以外の燃料使用は行政指導の対象となる場合があります。
- 掲載写真はカタログ用にポーズをつけて撮影したものです。機械から離れる場合は必ず作業装置を接地させるなど、安全に心がけてください。
- 掲載写真の色は、撮影や印刷の関係で実際の色とは異なって見えます。
- 本カタログの機械本体および装備は、改良などによりお届けする製品と異なる場合があります。また仕様は予告なく変更することがあります。
- 掲載写真は、オプション装備品を含んでいます。また、販売仕様と一部異なる場合があります。

△ 古河機械金属グループ FRD FURUKAWA 古河ロックドリル株式会社

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋一丁目5番3号 ☎ 03(3231)6961
 札幌支店 ☎ 011(786)1800 北陸出張所 ☎ 076(238)4688
 東北支店 ☎ 022(384)1301 関西支店 ☎ 06(6475)8251
 関東支店 ☎ 027(326)9611 広島営業所 ☎ 082(832)3541
 東京支店 ☎ 048(227)4560 九州支店 ☎ 092(948)1888
 名古屋支店 ☎ 0568(76)7755 鹿児島出張所 ☎ 099(262)3505

お問い合わせは

HCR900-DSⅢ-J1303-F3

弊社ホームページは、

このカタログは再生紙を使用し、植物油インクで印刷しています。



Hydraulic Crawler Drill HCR900-DSⅢ

少数特例2006年基準適合車



ECO-friendly

**運転環境・操作性・整備性を
アップグレードした最新鋭機。**

HCR900-DSIII

- ★ スーパーエコミーモード標準装備。
- ★ 高性能・高出力クリーンエンジン搭載。
- ★ 統一型丸型キャビンの採用。
- ★ エアコン標準装備。
- ★ チルト式コントロールスタンドの採用。

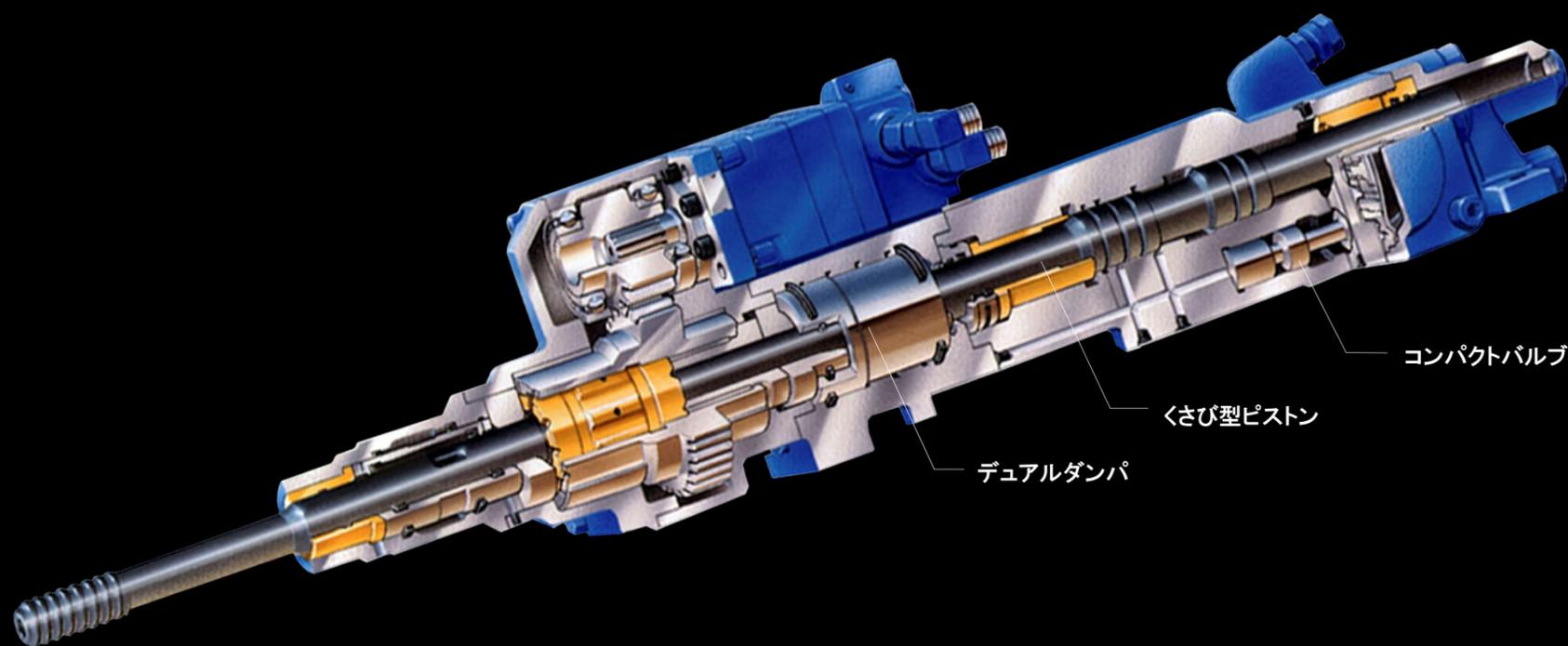
FRD
FURUKAWA



破碎効率を極めた新世代油圧ドリフタHD709 IIを搭載。

時代が求める基本性能を、先進のテクノロジーでさらに進化させ、鍛え上げられた高度な『技術』と、せん孔を極めた完成度を一段と磨き込み、スピーディかつパワフルなせん孔パフォーマンス
“よりはやく、よりまっすぐなせん孔”を実現しました。

HCR900-DSIII



デュアルダンパ

打撃時に岩からの反発力を受けて、ロッドを伝わって返ってくる衝撃的なエネルギーを吸収・緩和する機能だけでなく、ピストン側にあるもう一つのダンパでロッドに直接に推力をかけられる構造になっているため、つねに効果的な制御ができます。ビットの着岩性、岩盤へのエネルギー伝達効率を大幅に向上させた画期的な機構です。ビットの着岩性を確保することによって衝撃波のエネルギーを確実に岩盤に伝達できるうえ、拳動を安定させることで空打ち・孔曲がり減少、消耗品の寿命も大幅に向上させています。
 (USA特許取得済 U.S. PATENT No.5,896,937)

くさび型ピストン

ピストン形状をコンピュータによる5万通りのシミュレーションとフィールドテストを経て、最も打撃効率のよい形状を選択しました。

コンパクトバルブ

バルブ配置を従来機のピストン同軸配置から非同軸配置に変更し、コンパクト化を図りました。これによりバルブの応答性が大幅に改善され、かつ油圧効率が格段に良くなっています。(当社比)

リバースパーカッション

ジャミング発生時のロッドを強制的に引抜く装置です。スムーズなロッド引抜作業が可能のため、安心してせん孔作業に専念できます。(オプション装備品)



進化したドリフタシステム

- せん孔状態の変化を自動的に検出して制御するデュアルダンパ機構とエネルギー伝達効率を極めたくさび型ピストン形状により、異なる岩質に幅広く、すばやく対応します。
- 負荷に応じた最適な制御をすることで、群を抜く破碎効率を実現しました。
- 高効率のせん孔作業を可能にしたことに加え、打撃振動・騒音を低減しています。
- 複雑な操作もなく、ムダのないパワーで安定した、快適なせん孔が行えます。

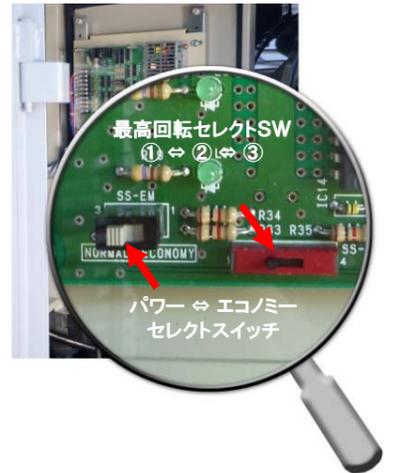
余裕のある高出力クリーンエンジンと先進のテクノロジーが スピーディかつパワフルなせん孔パフォーマンスを実現。

HCR900-DSIII



☆スーパーエコノミーモードの選択

せん孔作業中のエンジン最高回転数を制御盤内にある「パワー⇄エコノミーセレクトSW」と「最高回転セレクトSW」で設定することができます。孔掃除のブロー操作時には、モード設定に関係なくパワーモードのエンジン最高回転（最大風量）で残留線粉を排出させるシステムとなっています。現場に応じた適正なエンジン回転数でせん孔作業が行えますので、従来機と比べて燃料消費量が最大30%の低減など、省エネ運転が行えます。（特許出願申請中）



■せん孔中のエンジン最高回転数

スーパーエコノミーモード	①: 1,600min ⁻¹ ②: 1,800min ⁻¹ ③: 2,000min ⁻¹
パワーモード	④: 2,200min ⁻¹

スーパーエコノミーモードにおける孔掃除時（ブロー操作時）には、最大風量となるパワーモードの2,200回転に自動的に上昇させて残留線粉を排出させます。

孔掃除感知 → 自動的にエンジン最高回転の2,200回転に上昇。

高い作業効率で生産性アップ

燃費効率の高い直接噴射式ディーゼルエンジンと作業負荷に応じてパワーとスピードを自動的にコントロールする「アキシャルピストンポンプ」を採用。エンジン出力をムダなく、フルに活用できるため燃費効率が一層アップ。さらに、効率的な油圧・空圧技術により生産性をアップします。

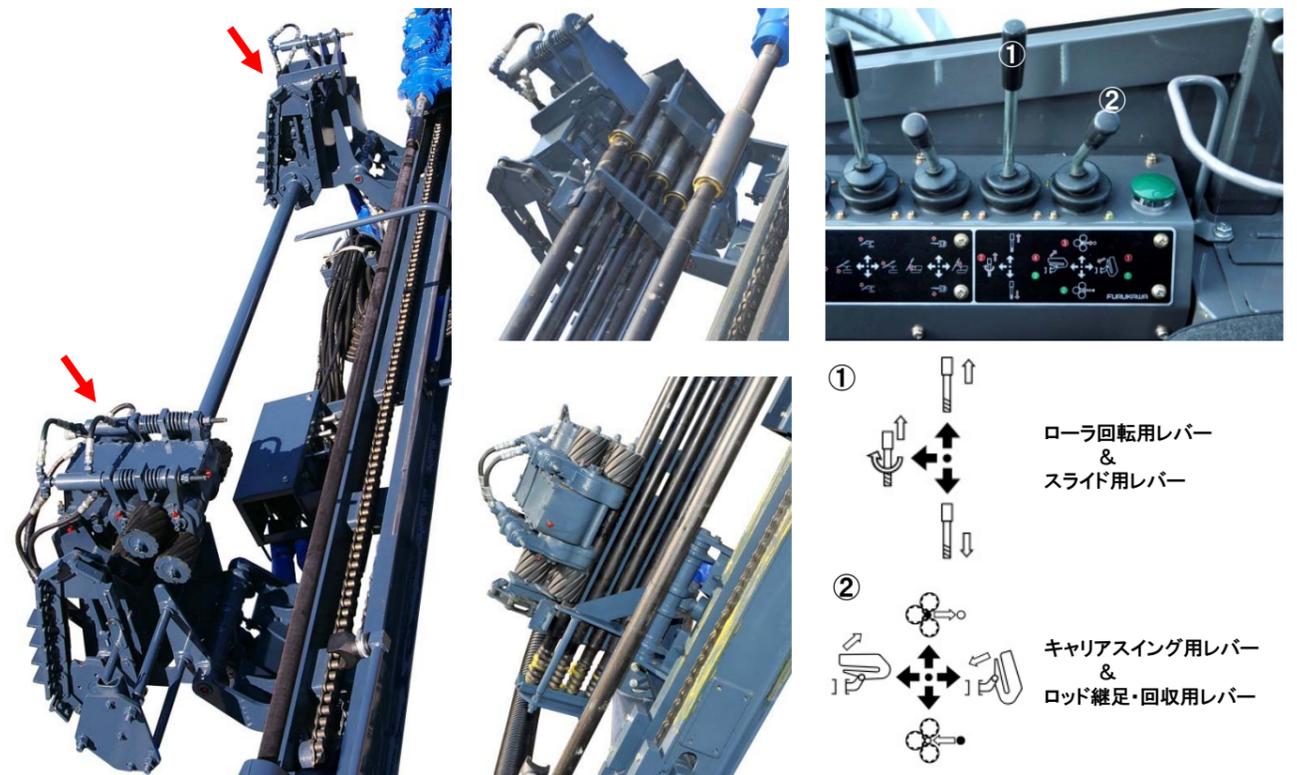
吸込式クーリングシステム

ラジエータ・エアクーラ（車体左側）、オイルクーラ（車体後部）のファンの向きを吸込み方式とし、ファン騒音の低減化を図りました。また、せん孔作業以外の軽負荷作業時におけるクーリングファンの回転数を低減することで、騒音低減化を図りました。

操作が簡単なロッドチェンジャ装置

ロッドの継足し、回収操作が迅速かつ確実に行えます。スピーディなロッドチェンジがサイクルタイムの短縮に確実に応えます。また、油圧シーケンスの採用により、メンテナンスも簡単に行えます。

●ロッドチェンジャ操作レバー



環境にやさしい高出力クリーンエンジン搭載。

環境にやさしい排出ガス3次基準値適合の水冷6気筒電子制御式ターボチャージャー付ディーゼルエンジン（QSB6.7カミンスエンジン）を搭載。エンジンの情報をリアルタイムに表示するディスプレイ装置を標準装備しています。また、打撃操作・ブロー操作を行うとエンジン回転速度が自動的に最高回転に上昇し、せん孔操作を止めると自動的に元の回転数に戻るオートスロットル機構を標準装備。そして、新設定のスーパーエコノミーモード標準装備により、せん孔中のエンジン最高回転数を4段階に選択できますので、岩質に合った省エネ運転が可能です。走行、ブーム操作時のエンジン回転は、エンジンスロットルスイッチで5段階に制御します。

■エンジン情報ディスプレイ装備



- エンジン回転数
 - エンジン運転時間
 - 冷却水温度
 - エンジン油圧
- などの各種情報が表示されます。

■エンジンスロットルスイッチ



スタータスイッチ

- 走行、ブーム操作時のエンジンの回転速度は5段階に設定しています。
- I 段階: 1,250 min⁻¹ (アイドル)
 - II 段階: 1,600 min⁻¹
 - III 段階: 1,800 min⁻¹
 - IV 段階: 2,000 min⁻¹
 - V 段階: 2,200 min⁻¹ (最高回転)

■エンジン診断モニターランプ



エンジンに不具合が発生するとエンジン警告ランプ（赤）が点灯します。エンジン診断ランプ（橙）は発生した不具合の内容を点滅回数で表示します。

燃料は必ず軽油をご使用ください。

排出ガス基準に適合しているディーゼルエンジンは、燃料に軽油を使用することを前提に設計されています。燃料には必ず軽油をご使用ください。

排出ガス規制

「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」（オフロード法）に基づいて、少数特例2006年基準適合車として承認されています。



シンプルな操作 & 信頼のおける確実性。



強力なフラッシング能力 & 高性能ダストコレクタ搭載。

大吐出・高圧エアコンプレッサ（吐出空気量：5.4 m³/min）と高性能ダストコレクタ（風量：20 m³/min）を搭載。プレクリーナ（オプション）の併用で大きな練り粉の捕集に威力を発揮します。余裕のフラッシング能力が残留練粉を大幅に減らし、サイクルタイムの短縮に確実に応えます。

■ 口元処理作業

サクションフードが上下にスライド。座ぐり状況が確認でき、せん孔の口元処理作業が容易に行えます。油圧式セントラライザはロッドを確実にホールドします。



プレクリーナ(オプション装備品)

操作性を重視したチルト式コントロールスタンド



せん孔系操作レバーと操作スイッチを配置したコントロールスタンドをチルト式に変更。角度調整により、最適なポジションでスピーディなせん孔操作が行えます。

■ せん孔操作パネル部 ①～④

- ① フラッシングレバー（フラッシングエアの吐出量を調整）
- ② 回転レバー（ドリフタのシャンクロッドを正回転、逆回転を行う）
- ③ フィードレバー（ドリフタの前進・後進を行う）
- ④ 打撃レバー（ドリフタの打撃と作動油の加熱を行う）

■ スイッチパネル部 ⑤～⑪

- ⑤ フィード前進圧力調整ハンドル
- ⑥ ダストコレクタスイッチ
- ⑦ フード&セントラライザスイッチ
- ⑧ アンチジャミングパイロットランプ
- ⑨ アンチジャミングスイッチ
- ⑩ 作業モード切替スイッチ
- ⑪ オートグリース給脂スイッチ

● アンチジャミング装置

せん孔中に破碎帯や粘土層に突入して異常を検知したときや、フラッシングエアの低下を検知したときは自動的にドリフタを後退させる安全装置を装備しています。アンチジャミング作動時にはパイロットランプが点灯します。



● 作業モードの選択

モード切替スイッチで岩質に応じたせん孔作業モードが選択できます。通常のせん孔作業と破碎帯、粘土層などの回転速度を優先するせん孔作業の選択が可能です。



● 穿孔用圧力計

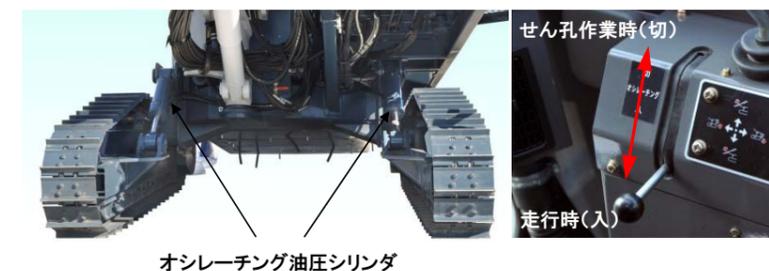
オペレータはつねにせん孔圧力を見ながら作業をしています。各圧力計をサイドピラー部にレイアウトすることで、作業中の視線移動をできるだけ小さくしました。



- ① 打撃圧力プレッシャゲージ
- ② フィード圧力プレッシャゲージ
- ③ 回転圧力プレッシャゲージ
- ④ フラッシングエア圧力プレッシャゲージ

強靱な足回り & クローラドリル独自の俊敏なフットワーク

現場でのフットワークを考えた強靱な足回り設計。路面の状態に合わせて左右のトラックフレームがそれぞれに揺動するオシレーティングシステムを標準装備。クラストップのグランドクリアランスとオシレーティング角度（20度）で悪路も安定した姿勢で走破できます。走行時は、オシレーティングレバーは「入」の位置にしておきます。せん孔作業時には「切」の位置にし、本体の揺動をロックしてください。



オシレーティング油圧シリンダ



オシレーティング機能がない場合、路面の凹凸により不安定な走行となる。



オシレーティング機能により、左右の履帯がそれぞれ接地するため安定した走行となる。

快適な運転環境にゆとりの性能をプラス!



快適なキャビン&ゆとりの運転環境。

大型安全ガラスで全方向の広々とした視界を確保した新型丸型キャビンを搭載しました。オプションでROPS/FOPS仕様を用意しています。そして、快適な室内環境を保つ外気導入型エアコンを標準装備としました。多様な稼働条件のもとでもつねに快適な作業ができます。また、最適なせん孔操作ポジション

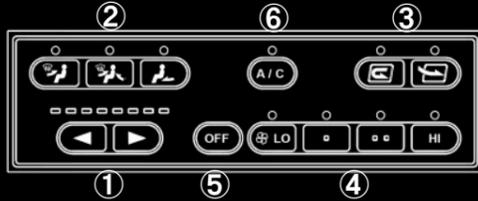
が得られるようにチルト式コントロールボックスを採用。穿孔系コントロールスタンドを中央に配置し、左側ピラー部に車両モニター、右側ピラー部にせん孔系圧力計、シートの右側にブーム操作レバーボックス、走行レバー&電気系コントロールパネル関係を機能的に配置しました。



新型丸型キャビン(写真は標準キャビン)

ROPS : Roll-Over Protective Structures (転倒時保護構造)
FOPS : Falling-Object Protective Structures (落下物保護構造)

エアコン標準装備



- ① 温度調整スイッチ
- ② 吹出し口切替スイッチ
- ③ 内外気切替スイッチ
- ④ 風量調整
- ⑤ 停止スイッチ
- ⑥ エアコンスイッチ

- 前方吹出し
- 足元吹出し
- 前方+後方吹出し

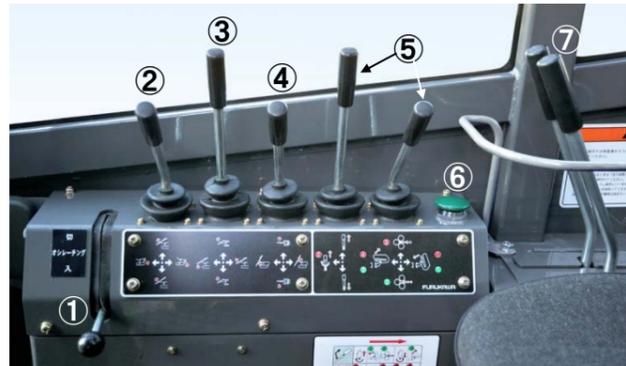


① センターピラー前方吹出口 ② 足元吹出し口(シート下) ③ 後方吹出口

外気フィルタ



シンプルな操作レバー配置



- ① オシレーティング(入・切)切換レバー
- ② ガイドスライド&オシレーティング操作レバー
- ③ ガイドスイング&ガイドチルト操作レバー
- ④ ブームスイング&ブームリフト操作レバー
- ⑤ ロッドチェンジャ操作レバー(2本)
- ⑥ ホーンスイッチ
- ⑦ 走行レバー
- ⑧ カップホルダー

右側コントロールパネル



- ① エンジンスタータスイッチ
- ② エンジンスロットルスイッチ
- ③ FM/AM自動選局ラジオ
- ④ エアコン・コントロールパネル
- ⑤ コンプレッサスイッチ
- ⑥ 前照灯スイッチ
- ⑦ 後部作業灯スイッチ
- ⑧ フロントワイパースイッチ
- ⑨ 上部ワイパースイッチ

快適なおペレータシート



ソフトな乗り心地のハイバックシートを標準装備。シートの前後調整、リクライニング調整で最適な作業姿勢が得られるようにシートの位置を調整してください。ROPS/FOPSキャビン装着車は、シートベルトが標準装備となります。



チルト式コントロールスタンド



最適なせん孔操作ポジションが得られるチルト式コントロールボックスを採用。チルトロックペダルを踏んで角度を調整します。せん孔系圧力計類は、センターピラー部に移動し、視認性を良くしました。

メータパネル(左側ピラー一部)



- ① モニタパネル
 - ② コンプレッサ吐出空気温度計
 - ③ 油圧作動油温度計
 - ④ エンジン情報ディスプレイ
- 各種エンジン情報を表示します。エンジンオーバーヒート時には自動的に停止します。

モニタパネル



- ⑤ エンジンエアクリーナ目盛り警告ランプ
 - ⑥ コンプレッサエアクリーナ目盛り警告ランプ
 - ⑦ リターンフィルタ目盛り警告ランプ
 - ⑧ オルタネータ(充電)警告ランプ
 - ⑨ エンジン診断モニターランプ
 - ⑩ プレヒートランプ
 - ⑪ エンジン診断スイッチ
 - ⑫ 表示切換スイッチ
- エンジンの不具合を警告し、不具合の内容を点滅回数で表示。
外気温が低くエンジンの始動が困難なとき、スタータスイッチをONにするると予熱ヒータが自動的に作動します。
不具合コードを表示させるスイッチです。
複数の不具合があったとき、不具合コードを切替えて表示させる働きをします。

二次元電気式角度計 (オプション装備品)

イージメンテナス

機体内・ブーム周りのホース類の取りまとめから、油圧機器やフィルタなどの点検箇所の集約など、イージメンテナスを重視した設計です。また、油圧回路改善による制御内容の簡素化や電気トラブルを未然に防止する耐候性、耐水性、耐油性のあるケーブルの採用、防水カプラーの採用など、トータル・メンテナンスコストの低減化を図っています。



右側アクセスカバー

コンプレッサのレシーバタンクの油量点検・補給、グリース給脂ポンプ、作動油供給ポンプ、せん孔制御バルブユニット関係などがあります。

フレーム前側に作動油タンク。作動油レベルゲージ、上部にエアブリーザ。側面に作動油リターンオイルフィルタが設置。フレーム後部に、エンジンオイルパン用のドレンプラグ、レシーバタンク内の混入水および沈殿物の排出用ドレンコックが設置。ダストコレクタの側面にエア回路内の水分等を分離・除去するエアフィルタ、キャビン右側面にドリフト潤滑油量の調整用自動給油式のルブリケーターを装備。

左側アクセスカバー

エンジンオイルレベルの点検、燃料フィルタの混入水のドレン、燃料フィルタカートリッジ、エンジンエアクリーナエレメントの点検、バッテリーの点検、エアコンのレシーバでガス量の点検などがあります。左側には制御盤が設置。内にヒューズボックスがあります。キャビン左後部側の上部エンジンカバーにウインドウウォッシュタンク、ラジエーターリザーバタンク（ラジエータ水量の点検）の点検窓があります。

後部アクセスカバー

燃料タンクレベルゲージの確認、燃料タンクから燃料フィルタ間にあるウォーターセパレータの点検（水抜き）、エンジンオイルフィルタカートリッジ、コンプレッサオイルフィルタカートリッジ、コンプレッサ用エアクリーナエレメント類などの点検を行います。燃料タンクの下部にドレンコックがあります。

! 燃料は、必ず軽油をご使用ください。

上部エンジンカバー

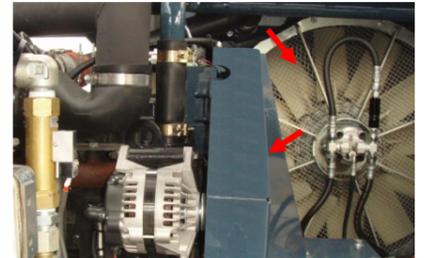
上部カバーは後方視界を確保するため傾斜を設けています。また、カバー上面の要所に滑り止めを貼り付けています

ブーム・ガイドシェル周りのホースまとめ

ブーム・ガイドシェル周りのオイルホース類は、ブーム根元部やブーム途中にターミナル部を設けるなど、メンテナンス性を重視したルート設計です。ホース交換も容易にできます。また、ケーブル関係もルートを明確にするとともに、耐候性・耐油性のあるものを採用しています。

! クローラドリルを離れるときは、盗難・いたずら防止のためアクセスカバー&ドアには必ず鍵を掛けてください。

360° ファンガード



ラジエーターおよびオイルクーラのファンガイド部には、360°のファンガードを装備。エンジンの回転部にもセフティガードを装備。

走行レバーロック



走行レバー部には、セフティロックを付けています。走行時以外のときは、万一の誤操作を防止するため走行レバーをロックしてください。（写真はロック位置）

ヘッドガード



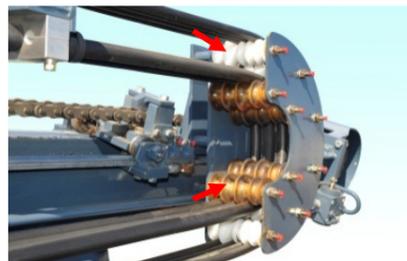
落下物からの保護としてヘッドガードを標準装備しています。

消火器



運転席右後部に消火器を設置。取扱方法については、消火器の取扱説明書をよくお読みください。

樹脂製ホースリールローラ



ホースリールローラは、耐摩耗性に優れたウレタン樹脂製を採用。メンテナンスコストの低減に貢献します。

樹脂製ウエアプレート



耐摩耗性に優れたウレタン樹脂製をオプション設定。

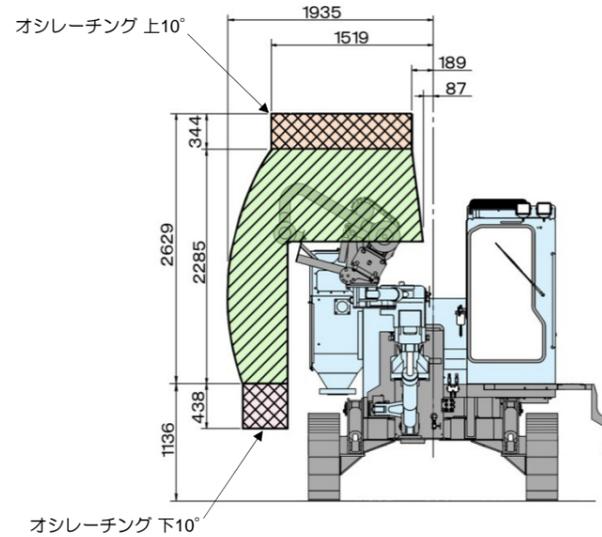
エアコン外気フィルタ・内気フィルタ



定期的に清掃・交換します。キャビン内の内気フィルタはシートの左後方にあります。

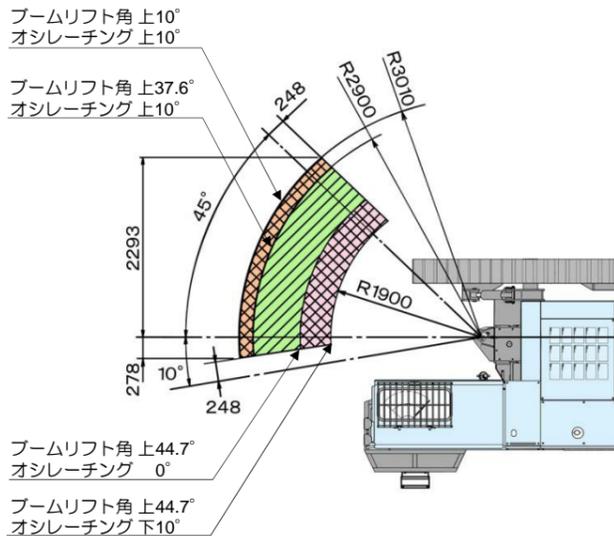
ユニット・種類		HCR900-DSIII
油圧ドリフタ		
HD709 II		◎
デュアルダンパシステム		◎
リバースパーカッション		●
ガイドシエル		
油圧式セントラライザ		◎
スライド式フード		◎
開閉式スライドフード		●
樹脂製ウエアプレート (キャリッジ)		●
樹脂製ホースリールローラ		◎
ロッドチェンジャ		
ロッド長さ	10ft	◎
ロッドサイズ	32H, 38R (T38)	▲
	38H, 45R (T45)	▲
MFロッド	32H, 38R (T38)	▲
	38H, 38R (T38)	▲
スタータロッド長	14ft	●
ロータユニット		◎
ブーム		
フィックスブーム		◎
水平ガイドマウンティング組替		●
トラックユニット		
シングルグロサシュー		◎
トリプルグロサシュー		●
リヤガード		◎
機体吊上げ用フック		●
ダストコレクタ		
フレクリーナ		●
折畳式フレクリーナブラケット		●
エキゾーストシャッター		●
シンターメラダストコレクタ		●
キャビン		
標準スチールキャビン		◎
ROPS/FOPSキャビン		●
エアコン		◎
ハイバックシート		◎
シートベルト (ROPS/FOPSキャビン標準装備)		●
FM/AMラジオ		◎
遮光フィルム		●
回転灯 (黄色)		●
水準計 (機体角度計) (ROPS/FOPSキャビンのみ)		●
サイドミラー (キャビン左側)		●
後方視界カメラ (カラー)		●
追加ライト (70Wx2)		●
消火器		◎
非常脱出用ハンマー (ROPS/FOPSキャビン標準装備)		●
コントロール装置		
せん孔レバー操作方向組替		●
レバー式ブームコントロール (油圧式)		◎
アンチジャミングシステム		◎
2レバーロッドチェンジャコントロール		◎
オシレートロック		◎
バックフザー		◎
エンジンスロットルスイッチ		◎
オートスロットル (打撃&ブロー操作時)		◎
その他		
振り子式ガイドチルト角度計		◎
振り子式ガイドスイング角度計		●
2次元電気式角度計		●
オペレータステップ (ショートタイプ)		◎
大型オペレータステップ (ロングタイプ)		●
折畳式オペレータサイドステップ		●
デタージェント装置 (第二種圧力容器)		●
エマージェンシーストップシステム (CE装備)		●
エンジンアワメータ		◎
ドリリングアワメータ		●
大型工具箱		●
サイレントダクトキット		●
強化型アンダーカバー		●
ウォータセパレータ (エンジン)		◎
アンチフリージング仕様		●
寒冷地用バッテリー		●
ヒーター装置		●

水平せん孔範囲図



オシレーティング 下10°

垂直せん孔範囲図



ブームリフト角上44.7°

オシレーティング 0°

ブームリフト角上44.7°

オシレーティング 下10°

■主なオプション装備品



大型オペレータステップ&工具箱



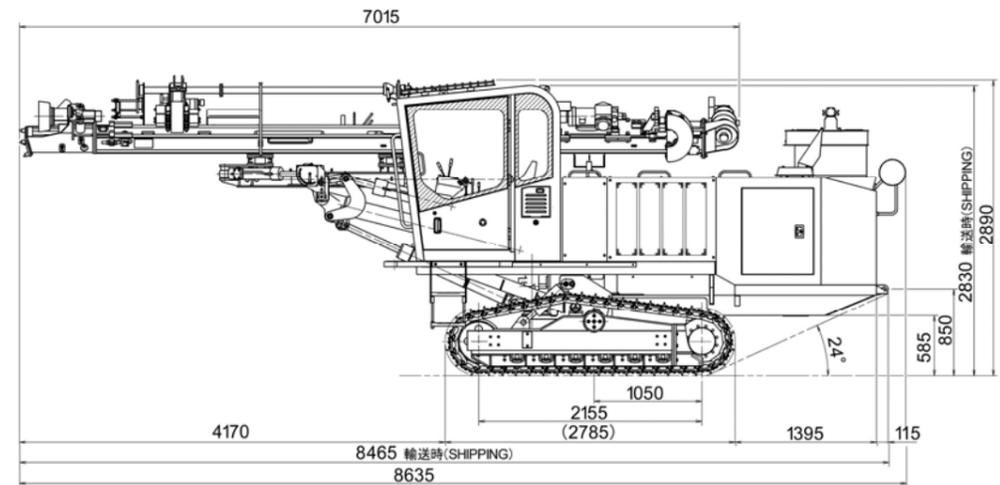
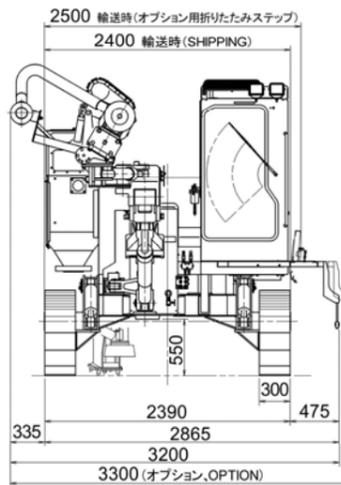
サイレントダクト (後部)



サイドミラー



振り子式ガイドスイング角度計



■主要諸元

Model	HCR900-DSIII
全体寸法	
全質量 (標準キャビン)	10,210 kg
全質量 (ROPS/FOPS)	10,250 kg
全長	8,635 mm
全幅	2,865 mm
全幅 (輸送時)	2,400 mm
全高	2,890 mm
全高 (輸送時)	2,830 mm
ドリフタ	
形式	HD709 II
質量	185 kg
打撃数	2,250 ~ 2,500 min ⁻¹
回転数	0 ~ 250 min ⁻¹
トラックユニット	
トラック全長	2,785 mm
トラック接地長	2,155 mm
シュー幅	300 mm
最低地上高	550 mm
揺動角	±10°
走行速度	0 ~ 3.8 km/h
登坂能力	57.7% (30°)
エンジン	
名称	QSB6.7
形式	水冷6気筒電子制御式ターボ付ディーゼルエンジン
メーカー	カミンズ
定格出力	164 kW / 2,200 min ⁻¹
燃料タンク容量	320 リットル
油圧装置	
可変容量ポンプ	斜板式ピストンポンプ x 2
定容量ポンプ	ギヤポンプ x 3
オイルタンク容量	170 リットル

Model	HCR900-DSIII
コンプレッサ	
名称	PDS265-S35A (AIRMAN)
形式	スクリュウ回転型1段圧縮油冷式
吐出空気量	5.4 m ³ /min
吐出空気圧	1.03 MPa
ブーム	
型式	JF200
形状	フィックスブーム
ブームリフト角	上 43°、下 30°
ブームスイング角	右 45°、左 10°
ガイドシエル	
型式	GH831
全長	7,015 mm
10ftフィード長	4,089 mm
RP付フィード長	3,904 mm
ガイドスライド長	1,500 mm
ガイドスイング角	右 50°、左 50°
ガイドチルト角	180°
最大引抜力	24.5 kN
フィード方式	油圧モータ駆動チェーン式
ダストコレクタ	
風量	20 m ³ /min
フィルタ数	4本
ロッドチェンジャ	
格納ロッド数	4本
操作レバー数	2本
ロッド・ビット	
せん孔径	φ65 ~ φ90 mm
ビット形状	ボタン、クロス、スパイク
使用ロッドサイズ	32H, 38R, 45R, (38H)
使用ロッド長さ	3,050 mm (10 ft)
最大スタータロッド長	4,000 mm (14 ft)